



震災の教訓を風化させないために「コミュニティで結束して防災訓練(右)、公園には万一の災害に備えての「かまどベンチ」を



「備えあれば憂い無し」 相次ぐ自然災害にも



壁に設置された制震や耐震装置は目に触れないが住まいを守る(上)、前提となる性能は繰り返し振動実験でしっかりと確保(下)



大震災の教訓 風化させず

東日本大震災から11日で8年、熊本地震からもまもなく3年になります。避難指示解除など復興が進んだかにも見える地域もありますが、原発事故への対応も含め復興はまだ道半ばといえるでしょう。しかも、昨年は4月の「島根県西部地震」から6月の「大阪府北部地震」と続き、9月には「北海道胆振東部地震」など大規模な地震が発生。さらに、西日本豪雨や大型台風が猛威を振るった1年でもありました。

人が住んでいる住宅ストック数約5210万戸のうち、現状で耐震性が不足している「非耐震」住宅が900万戸もあるそうです。6戸から7戸に1戸が非耐震住宅ということになり、また、耐震性が不足しているというところは強度不足ということでもあり、巨大な台風の猛烈な風圧に対しても懸念があるといえるでしょう。

一方で、住友生命が実施したアンケートでは住まいの防災対策について、「特になし」が半数を占めている結果となっています。国は、最低3日分×家族の人数分の水と食料品を備蓄しておくことを推奨していますが、非常時の備蓄の必要性は感じているものの、自らが被災した姿の実感が湧かず、なかなか対策の実施に踏み切るまでには至らないようです。

最近の総合住宅展示場には、高度な耐震や制震機能を備えながら、省エネで快適な最新の住まいが各社から展示されています。また、住宅ローンの減税や有利な補助金、給付金、住宅ポイント制度などに関する情報にも触れられます。

「備えあれば憂い無し」という言葉もあります。お住まいの耐震性に不安があるなら、これを機会に耐震診断を受け、必要に応じて改修や建て替えを検討されてはいかがでしょうか。



2階も天井が高いかあ…

2階も天井高2m72cm。
だから広く感じる。

xevo  PREMIUM

DEBUT

家、そして近未来をつくる。



TOKYO 2020



Daiwa House



TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES

東京2020オフィシャル施設建設&住宅開発パートナー

大和ハウス工業株式会社〈戸建住宅〉

東京本社 住宅事業推進部 東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号 〒102-8112 Tel 03-5214-2172 Fax 03-5214-2176

本社 住宅事業推進部 大阪市北区梅田3丁目3番5号 〒530-8241 Tel 06-6342-1300 Fax 06-6342-1593

www.daiwahouse.co.jp ☎0120-590-956 受付時間:9:00~21:00(年末年始 除く)

「わが家の防災」テーマに

地震の備えを 最重視 約8割

住友生命が調査

ご家庭の防災対策に点数をつけるとすれば、100点満点中何点ですか

【全体・男女別】

	今回	前年	前々年
全体	34.6	34.1	34.2
男性	35.8	35.4	37.1
女性	33.5	32.8	31.3

【年代別】

位	年代	今回	前年	前々年
1	60代	44.7	39.6①	41.9①
2	50代	35.9	36.4②	35.9②
3	40代	34.7	34.4③	33.4③
4	20代	29.2	29.3⑤	28.8⑤
5	30代	28.7	30.9④	30.8④

【地域別】

位	地域	今回	前年	前々年
1	東北	37.6	37.4②	32.2④
2	北海道	37.5	24.2⑦	31.7⑤
3	近畿	36.5	33.5③	31.0⑦
4	中部	35.5	32.7④	35.4②
5	関東	34.6	38.2①	36.3①
6	九州	29.3	25.3⑥	31.5⑥
7	中国・四国	27.6	29.4⑤	32.7③

(数字は平均点、○内数字は順位)



災害への備えは床下の水や食料品の備蓄庫で

約8割が地震の備えを最重視。対象は全国1千人(男女各500人)となっている。まず、最も備えが必要だと思ふ災害は台風。住友生命保険相互が「わが家の防災」をテーマに実施したアンケート調査の結果で、自宅の防災対策の自己評価は34・6点と低水準だった。防災について多くの人が関心を持っているが、行動に移せてはいない現状が明らかとなった。

同アンケートは、東日本大震災から5年を経た2016年から毎年実施しており、今年で4回目となる。調査期間は昨年12月7日～10日。インターネット応募による選択方式及び自由記入方式で調査された北海道も前回の67・2%

エリア別でも、すべての地域で地震がトップ。特に、数値の高さでは東海地震エリアの関東(83・2%)や中部(81・0%)が目立つ。また、北海道胆振東部地震に見舞われた北海道も前回の67・2%

60歳代の44・7点と低い。年代別では、家庭の防災対策の評価は、100点満点中全体平均で34・6点と低い。年代別では、防災対策として、上位では非常用の飲料水の備蓄(26・8%)、非常用食品の備蓄(23・4%)が占め、防災時における水と食料品の確保が重視されている。

だが、トップは「特になし」の45・0%。また「特になし」回答は、1年以上前からの対策や対策を実施しない理由としても、それぞれトップを占めた。さらに、実施しない理由がある回答でも「つい先延ばしにしてしまう」と「何を

防止意識の変化については「防災対策への関心度」が28・4%で前回(22・6%)より5・8ポイントアップ。地域別では、北海道や中国・四国の1位が「防災対策への関心度」だった。災害の発生や経験が、人々の防災意識に変化を与えていることがわかった。

ハザードマップや防災に対するアプリの活用について、それを活用し自宅の危険度を「把握している」との回答は46・6%。「確認したことがない」は41・6%のぼり活用しきれていない現状がうかがえる結果に。特に、年代別で20歳代が唯一「確認したことがない」が「把握しているを上回っており、防災意識の低さが表れたとしている。

この1年間または、それ以前から防災対策を実施していない理由は何ですか(複数回答)

(数字は%、○内数字は順位)

位		全体	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州
1	特になし	36.4	36.4①	27.8①	34.4①	42.1①	37.5①	25.0③	41.5①
2	つい先延ばしにしてしまう 何をしたらよいかかわからない	26.9	36.4①	22.2②	25.0③	22.8③	32.1②	31.3②	29.3③
3	面倒	17.4	18.2	22.2②	18.0	14.0	21.4	12.5	14.6
4	お金がかかる	14.4	27.3③	11.1	14.1	14.0	12.5	18.8	14.6
5	やっても無駄	5.8	0.0	16.7	8.6	3.5	3.6	6.3	0.0

※『その他』: 全体0.6%、東北5.6%、関東0.8%、左記以外の地域は0.0%

あなたにとって最も備えが必要だと思う災害は何ですか

(数字は%、○内数字は順位)

位		全体	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州
1	地震	78.4	80.3①	77.3①	83.2①	81.0①	79.0①	63.8①	62.2①
2	台風	8.1	3.3	1.3	7.2②	4.8②	9.2②	15.5②	18.9②
3	大雨・洪水	4.4	3.3	2.7	2.9③	4.8②	4.1	8.6③	10.0③
4	津波	3.9	1.6	4.0③	2.4	4.1	6.7③	3.4	5.6
5	大雪・雪崩	1.8	6.6②	9.3②	0.5	2.7	0.0	1.7	0.0
6	噴火	1.3	4.9③	1.3	1.1	2.7	0.5	0.0	0.0
7	落雷	0.6	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	1.1
8	土砂災害 竜巻	0.5	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	6.9	0.0
			0.0	2.7	0.5	0.0	0.0	0.0	1.1

※『その他』: 全体0.5%、東北1.3%、関東0.5%、近畿0.5%、九州1.1%、左記以外の地域は0.0%

防災対策に高い関心も 自己評価は低い水準

約8割が地震の備えを最重視。対象は全国1千人(男女各500人)となっている。まず、最も備えが必要だと思ふ災害は台風。住友生命保険相互が「わが家の防災」をテーマに実施したアンケート調査の結果で、自宅の防災対策の自己評価は34・6点と低水準だった。防災について多くの人が関心を持っているが、行動に移せてはいない現状が明らかとなった。

同アンケートは、東日本大震災から5年を経た2016年から毎年実施しており、今年で4回目となる。調査期間は昨年12月7日～10日。インターネット応募による選択方式及び自由記入方式で調査された北海道も前回の67・2%

エリア別でも、すべての地域で地震がトップ。特に、数値の高さでは東海地震エリアの関東(83・2%)や中部(81・0%)が目立つ。また、北海道胆振東部地震に見舞われた北海道も前回の67・2%

60歳代の44・7点と低い。年代別では、家庭の防災対策の評価は、100点満点中全体平均で34・6点と低い。年代別では、防災対策として、上位では非常用の飲料水の備蓄(26・8%)、非常用食品の備蓄(23・4%)が占め、防災時における水と食料品の確保が重視されている。

だが、トップは「特になし」の45・0%。また「特になし」回答は、1年以上前からの対策や対策を実施しない理由としても、それぞれトップを占めた。さらに、実施しない理由がある回答でも「つい先延ばしにしてしまう」と「何を

防止意識の変化については「防災対策への関心度」が28・4%で前回(22・6%)より5・8ポイントアップ。地域別では、北海道や中国・四国の1位が「防災対策への関心度」だった。災害の発生や経験が、人々の防災意識に変化を与えていることがわかった。

ハザードマップや防災に対するアプリの活用について、それを活用し自宅の危険度を「把握している」との回答は46・6%。「確認したことがない」は41・6%のぼり活用しきれていない現状がうかがえる結果に。特に、年代別で20歳代が唯一「確認したことがない」が「把握しているを上回っており、防災意識の低さが表れたとしている。

約8割が地震の備えを最重視。対象は全国1千人(男女各500人)となっている。まず、最も備えが必要だと思ふ災害は台風。住友生命保険相互が「わが家の防災」をテーマに実施したアンケート調査の結果で、自宅の防災対策の自己評価は34・6点と低水準だった。防災について多くの人が関心を持っているが、行動に移せてはいない現状が明らかとなった。

同アンケートは、東日本大震災から5年を経た2016年から毎年実施しており、今年で4回目となる。調査期間は昨年12月7日～10日。インターネット応募による選択方式及び自由記入方式で調査された北海道も前回の67・2%

エリア別でも、すべての地域で地震がトップ。特に、数値の高さでは東海地震エリアの関東(83・2%)や中部(81・0%)が目立つ。また、北海道胆振東部地震に見舞われた北海道も前回の67・2%

60歳代の44・7点と低い。年代別では、家庭の防災対策の評価は、100点満点中全体平均で34・6点と低い。年代別では、防災対策として、上位では非常用の飲料水の備蓄(26・8%)、非常用食品の備蓄(23・4%)が占め、防災時における水と食料品の確保が重視されている。

だが、トップは「特になし」の45・0%。また「特になし」回答は、1年以上前からの対策や対策を実施しない理由としても、それぞれトップを占めた。さらに、実施しない理由がある回答でも「つい先延ばしにしてしまう」と「何を

防止意識の変化については「防災対策への関心度」が28・4%で前回(22・6%)より5・8ポイントアップ。地域別では、北海道や中国・四国の1位が「防災対策への関心度」だった。災害の発生や経験が、人々の防災意識に変化を与えていることがわかった。

ハザードマップや防災に対するアプリの活用について、それを活用し自宅の危険度を「把握している」との回答は46・6%。「確認したことがない」は41・6%のぼり活用しきれていない現状がうかがえる結果に。特に、年代別で20歳代が唯一「確認したことがない」が「把握しているを上回っており、防災意識の低さが表れたとしている。

木と生きる幸福

◆ 住友林業

住友林業の家

この時間が、
とっても大切だから。
今の時代、家族と一緒に
過ごせる時間は短い。
だから、本物の木のやすらぎを
選びたいって思った。



一番の災害対策は日頃からの備え

災害時に役立つサービス等

災害用伝言ダイヤル(局番なしの「171」)

伝言を録音でき、自分の電話番号を知っている家族などが、伝言を再生できる

災害用伝言板(携帯電話等の事業者提供)

震度6弱以上などの大規模災害発生時に利用可能
携帯電話やPHSからインターネットサービスを使用して文字情報を登録することで家族などが、情報を閲覧できる

家族の安否確認方法を決めておこう

別々の場所にいるときに災害が発生した場合でもお互いの安否を確認できるように日頃から安否確認の方法や集合場所などを、事前に話し合っておこう



もしもの時の情報収集(政府SNS)

通信インフラ等が多大な被害を受ける中、ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)は情報伝達の手段として有効
ただし、いわゆるデマには注意が必要だ
●災害時に役立つ政府の公式ツイッターアカウント(2019年2月28日現在)

☆首相官邸(災害・危機管理情報) @Kantei_Saigai
フォロワー数 約265万人

☆首相官邸(被災者応援情報) @kantei_hisai
フォロワー数 約3万8千人

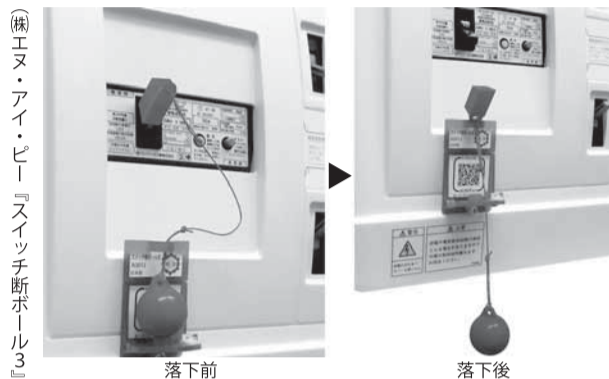
☆総務省消防庁 @FDMA_JAPAN
フォロワー数 約95万人

☆内閣府防災 @CAO_BOUSAI
フォロワー数 約43万人



地震による通電火災を防ぐ『感震ブレーカー』

「感震ブレーカー」とは、地震発生時に設定値以上の揺れを感知すると、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具
感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に通電火災を防止する有効な手段



簡易型の例

通電火災とは?

大地震などによる停電が復旧し、ドライヤーや電気ストーブなどに通電が再開される際に発生する火災のこと
阪神大震災の火災の内原因が特定できた火災の約6割が通電火災と言われている

感震ブレーカーの種類

	タイプ	価格	工事	主な特徴
分電盤タイプ	分電盤タイプ	約5万円～8万円	必要	・分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し電力を遮断 ・作動の信頼性が高い ・家屋内の全ての電力が遮断されるため医療機器などには別途電源が必要
	感震リレータイプ	約2万円～4万円	必要	・外付けタイプのため既存のブレーカーに設置可能 ・分電盤ごと交換するより安価 ・家屋内の全ての電力が遮断されるため医療機器などには別途電源が必要
コンセントタイプ	埋込み型	約5千円～2万円	必要	・作動の信頼性が高い ・コンセントごとに遮断が可能 ・設置数が増えればコストが増加 ・設置していないコンセントからの発火の可能性あり
	タップ型		不要	
	簡易タイプ	約3千円～4千円	不要	・安価 ・設置が容易 ・取り付け方などにより、作動の信頼性に劣る場合も ・家屋内の全ての電力が遮断されるため医療機器などには別途電源が必要

※内閣府資料から作成 ※価格などは参考のため実際には異なる場合あり

避難経路の確保と生活必需品の備蓄を

非常用持ち出し品チェックシート

貴重品類	
10円玉は公衆電話用に 通帳、カード、健康保険証、運転免許証などは番号を控えたメモかコピーを用意しておくといでしょう	現金 10円玉
	預金通帳
	印鑑
	保険証
	免許証
避難用具	
懐中電灯はできれば一人に一つ用意したいもの	懐中電灯
	携帯ラジオ
	予備の乾電池
	ヘルメット・防災ずきん
生活用品	
避難所生活に最低限必要なものです 赤ちゃんやお年寄り、障がい者がいる場合など考慮して揃えましょう	厚手の手袋
	毛布
	缶切り
	ライター・マッチ
	ナイフ
	携帯用トイレ
救急用具	
救急箱には絆創膏・消毒液など、その他ビタミン剤など日頃使っているサプリメントなどもあるといでしょう	救急箱
	処方箋の控え
	胃腸薬・便秘薬・持病の薬
	生理用品
非常食品	
最低3日分は用意しましょう そのまま食べられるものが便利です	乾パン
	缶詰
	栄養補助食品
	アメ・チョコレート
	飲料水
衣料品	
衣類は動きやすいものを選びましょう セーターなどの防寒具も寒い季節には役立ちます	下着・靴下
	長袖・長ズボン
	防寒用ジャケット・雨具
その他	
携帯用カイロ	

※チェックシート出典：消防庁

災害時に危険な家具

家具が転倒しないよう、家具は壁に固定しよう
寝室や子ども部屋には、できるだけ家具を置かないようにしましょう

タンス

床側をストッパーなどで固定し、天井側はポール式器具で固定する

食器棚

L字型金具やワイヤーなどで壁に固定し、開き戸には開かないように留め金を付ける

本棚

L字型金具やワイヤーなどで壁に固定し、重い本は下の段に

テレビ

粘着マットを敷いて転倒を防ぐとともに、機器の裏側をワイヤーなどで壁やテレビボードに固定する

冷蔵庫

裏側をワイヤーなどで壁に固定する

食料・飲料・生活必需品などを備蓄しよう

国の推奨は以下の通り

飲料水 3日分(1人1日3リットルが目安)

非常食 3日分の食料として、アルファ米、缶詰、乾パン、栄養補助食品など

※ 大規模災害発生時には、「1週間分」の備蓄が望ましいとされている

※ 飲料水とは別に、トイレを流したりする

ための生活用水も必要になる

日頃から、水道水を入れたポリタンクを

用意する、お風呂の水をいつも張って

おくなどの備えをしておこう

※ 食料・水・衣類などは人数分用意し、非常用袋

などに入れ、持ち出しやすい場所に置いておこう



住む

MISAWA

貸す

ミサワホームがデザインする3・4・5階建の重量鉄骨住宅。

資産も空間も最大活用するノウハウをオールインワンした、ミサワホームの「URBANCENTURY」。都市生活を満喫するための5つの要素「交流」「収入」「快適」「価値」「安心」を丁寧にデザインしました。二世帯・三世帯同居や賃貸併用住宅、店舗併用住宅などフレキシブルに活用できるため、いつもご家族のライフスタイル・ライフステージに寄り添いながら、時代とともに変化する都市のニーズも取り込んだフロア構成を実現できます。ご家族とまちに愛され、いつまでもすぐれた価値を保ち続ける建物です。

アーバンセンチュリー

URBANCENTURY



たくさんの魅力をご紹介した「アーバンセンチュリー」のカタログを差し上げます。下記フリーダイヤル、もしくは「アーバンセンチュリー」のWEBサイトからお申し込みいただけます。

フリーダイヤル ☎0120-175330 | www.misawa.co.jp/kodate/syohin/urbancentury/ アーバンセンチュリー 検索

※当社は、お客様の個人情報を、建築・リフォーム工事、不動産取引に関する情報・サービス案内のお届け、訪問、各種プランのご提案、アンケート調査等の実施目的で利用いたします。その他詳細は、www.misawa.co.jp/privacyをご覧ください。

住まいを通じて生涯のおつきあい

新しい暮らしをデザインします

ミサワホーム

価値と快適をデザインします

ミサワリフォーム

賃貸経営から介護・福祉事業
複合土地活用まで

ミサワ資産活用



震度7に 60回 耐えた家。

創立以来40年以上、大地震の揺れから
住まいの安全を守り続けてきた三井ホーム。
しかし三井ホームは、この実績に決して満足していません。
最新の実験(プレミアム・モノコックG)では、
震度7連続60回にも耐え抜きました。
その強さを生み出すのは、「プレミアム・モノコック構法」。
6面体構造で衝撃を分散させる、
三井ホームだけの独自技術です。
地震があったとき、いちばん揺らぐのはいけないのは、
そこに住む家族の暮らしだと思ふから。
それを守りぬくために、私たち三井ホームは、
技術と知恵をどこまでも磨きつづけていきます。

剛性の高い一体構造による揺れにくさを、
オーナー様にご評価頂いています。*

S様

恐怖を感じない位の揺れで済みました。
三井ホームの家はシェルターの中に
いるような感じで、安心感がありました。

I様

震災時に我が家で生活が
できているのがすごい。
12年前の主人の選択は
間違っていなかったと思います。

Y様

驚くことに被害がなく、
我が家が親戚の避難所となりました。
家は耐震性が高い建物であることが
重要だと感じました。

三井ホームは、独自の木造建築構法「プレミアム・モノコック」を採用した建物で実大振動実験を行い、その強さの検証と更なる建物の強度向上を図っています。
実施期間:2016/6/2~3(3階建)7/11~13(2階建)、実験場所:国立研究開発法人土木研究所 本実験結果は、プレミアム・モノコックG(2階建)によるものです。
詳細は三井ホーム公式WEBサイトをご確認ください。 ※あくまで個人の感想であり、性能を保証するものではありません。

過酷な耐震実験で強さを実証。

気象庁・熊本地震のご厚意により熊本地震波データをご提供いただきました。

加振最大加速度 **5,115gal** ※1

地震の瞬間的な衝撃力の大きさを表す単位である「gal」に関して、
世界の地震観測史上最大値である4,022galを上回る衝撃に耐えぬきました。
(熊本地震:1,580gal/東日本大震災:2,933gal/阪神・淡路大震災:891gal)

加振最大速度 **231kine** ※1

地盤の揺れの速さを表す単位である「kine」に関して、熊本地震で震度7を観測した
益城町の186kine^{※2}を上回る振動にも、構造に損傷はありませんでした。
(東日本大震災:106kine/阪神・淡路大震災:112kine)

震度7連続加振回数 **60回**

震度7を2回連続で観測し、前例のない大災害となった熊本地震。
三井ホームは、その30倍に及ぶ回数の震度7に挑戦し、
強さを実証しました。

※1 入力地震動の数値ではありません。実験時に振動台で計測された実測値です。 ※2 三井ホーム解析値

カタログ請求・モデルハウスに関するお問い合わせは… ☎0120-94-4331 9:00~18:00 (土・日・祝日除く)

三井ホーム株式会社 本社 〒163-0453 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル53階

実験動画をWEBで公開中!

三井ホーム 耐震

検索





いつも、そばに、のきのま。

テラスであり、庭であり、通り道であり、居場所でもある。
 玄関先を深い軒のある半屋外空間「のきのま」にすることで、
 暮らしに新しい便利と快適をもたらす家。

家族が自由に行き交い、思い思いのひと時を過ごす。
 毎日うれしい、時々たのしい「のきのまent」で、ゆとりある心豊かな暮らしを。



のきのまent

資料請求はこちら

- 各種資料をご用意しております。資料をご希望の際は、左記電話番号までお問い合わせください。
- はがき・FAXでのご請求は、資料請求NO(JS201903)・住所・氏名・電話番号・建設予定地をご記入の上、下記住所・FAX番号までお送りください。

〒101-8101 千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング7階 旭化成ホームズ(株)広報室

TEL.03-6899-3010 FAX.03-6899-3400

旭化成ホームズ株式会社

安全で防災力に優れた快適な住まい



VAX (ボックス)

三井ホーム

『VAX (Vibration Absorbing X-ray)』は、三井ホームが独自の制震技術と耐震等級1相当の一般的な2×4工法住宅と比べ、2階床で最大で80%の地震の揺れ低減が図れるのが特徴だ。また、揺れ幅の減衰(収束を速める)により、繰り返し発生する余震に

対し性能を維持する。内壁枠組に、制震ダンパーと制震フレームを組み込んだのが、VAXの基

本構造。安全な避難を助ける。スリットを貫通する鋼板プレートで、左右に揺れる際の制震効果を発揮する。また、揺れ幅の減衰(収束を速める)により、繰り返し発生する余震に

対し性能を維持する。内壁枠組に、制震ダンパーと制震フレームを組み込んだのが、VAXの基

本構造。安全な避難を助ける。スリットを貫通する鋼板プレートで、左右に揺れる際の制震効果を発揮する。また、揺れ幅の減衰(収束を速める)により、繰り返し発生する余震に

対し性能を維持する。内壁枠組に、制震ダンパーと制震フレームを組み込んだのが、VAXの基

2階床で最大8割減 余震に対し性能維持



MGE O (エムジオ)

ミサワホーム

ミサワホームの制震装置『MGE O (エムジオ)』は、壁の内部に複合テコの原理を応用した独自の変位拡大機構と、高減衰ゴムをセットした制震ダンパーを組み合わせた構造。地震エネルギーを最大約50%軽減でき、さらに繰り返し発生する余震にも効果を発揮するため、建物の破損や内装仕上げの損傷も防げる。2004年12月の発売以来、搭載した戸建住宅の累計受注棟数が、昨年10月で大台の5万棟を突破した。

その効果は、発売に先立ち04年7月に実施した実大振動実験で実証されたとしている。室内には家具を配置するなど、実

用、木造軸組構法住宅用に交換することで、衝撃を半減させる。高減衰ゴムは、表層を酸化防止の耐候性ゴム製の発生が予測されているエリアでは、9割を超える搭載率となった。

用、木造軸組構法住宅用に交換することで、衝撃を半減させる。高減衰ゴムは、表層を酸化防止の耐候性ゴム製の発生が予測されているエリアでは、9割を超える搭載率となった。

用、木造軸組構法住宅用に交換することで、衝撃を半減させる。高減衰ゴムは、表層を酸化防止の耐候性ゴム製の発生が予測されているエリアでは、9割を超える搭載率となった。

用、木造軸組構法住宅用に交換することで、衝撃を半減させる。高減衰ゴムは、表層を酸化防止の耐候性ゴム製の発生が予測されているエリアでは、9割を超える搭載率となった。

高減衰ゴムをセット テコの原理使い制震



SLOW & SMART
 ゆっくり生きてゆく、住まいの先進技術。

夢よ、もう1階。

たとえば。
 吹き抜けのリビングに
 「大きな空」を飾ろう。
 心地よい、その眺めを。
 大好きな、この街で。
 大切な、その土地に。
 自由な夢を描いて、叶える
 「もうひとつ上」の住まいを。

通し柱のいらない自由なプランの、
 「フレキシブル3・4階」。

積水ハウスの3・4階建て。

家に帰れば、積水ハウス。